

# Tabeiro

## オンラインスクール



【占い】のことを  
まずは、知ろう



講師：春野海  
占いの部屋 Tabeiro

## 占いとは・・・？



人は、誰でも「運命の記録」を持って生まれてきます。  
占いというのは、基本的には、未知なる（今後の自分）ものを調べる道具でもあります。

- ・恋の行方、仕事の方向性、将来の展望など・・・

つまり、これから先の不確かな未来に対する不安を抱えているのを取り除いたり、安心したりする事なのですね。

もともと持って生まれた『宿命』は変わりません。しかし、後天的な『運命』は、今日を生きていく中で付き合っていく人たちによって、いかにも変化します。

人は、常に迷い、そして決断を迫られているので、その都度自分の裁量と才覚によって道を選ぶしか方法はありません💧そのため古来より人々は、眼に見えない力を信じて、神に願いをかけたり、星の動きを読み取ったりして、運命を変えてきたわけです。

# 占いの誕生



自然に現れる『前兆』、これが占いの素朴な形であり、占いの根源です。

・しかし、前兆占いだけでは、自然に現れる現象を待つしか、未来を知る手段がありません😞

・しかも、仮になんらかの前兆があっても、範囲が広すぎて、果たして何の前兆かを特定するのが困難です・・・

そこで、古来の智慧者は、ただ待つのではなく

自ら未来を知る方法を探しました。

道具を使って、自分たちで、『前兆』を起こす様になったのです。

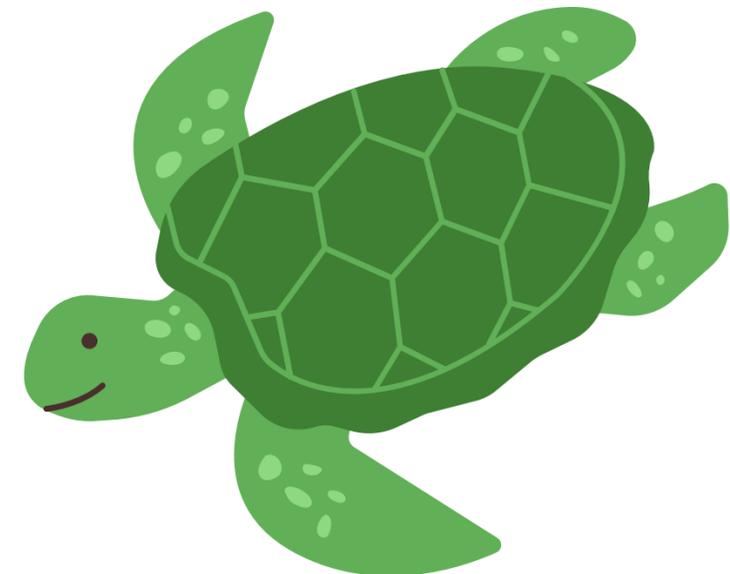
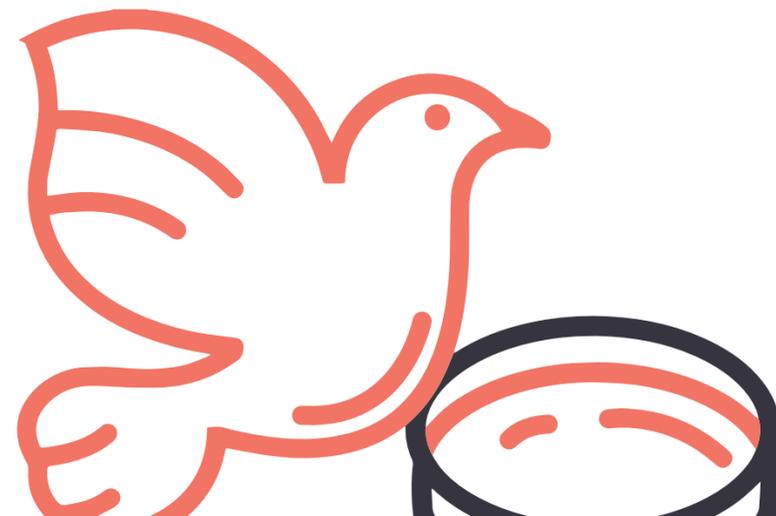
## 占いの誕生



古代の占い師は、『亀の甲羅』を焼き、甲羅に入った“ヒビ”によって予測しました。

この“ヒビ”象形が、『卜』です。  
割れるときに、『ボクッ』と音がしたので、『卜』を『ぼく』と呼ぶ様になりました。

さらに、それを『口』で伝えるため『占』という文字が  
この世に誕生した訳です。



## 【鑑定の流れを自分で作ってみよう】



①まずは、占い師名と感謝を伝える

②相手のお名前を聞いてあげる。意識して名前を呼んであげる

③相手の名前を呼んであげ、ご相談内容を聞く。

④ご相談内容を確認する。

⑤どの占術を使って、何を鑑定するかを説明をする。

※しっかり占術を伝えること！

⑥どのくらいの待ち時間かを伝えてあげる。

※待ち時間を不安にさせないために〇分お待ちくださいと明記してあげてお客様を安心させてあげましょう。



## 【鑑定の流れを自分で作ってみよう】



⑦鑑定中 鑑定していることをアピールする。

⑧鑑定結果を伝える

⑨「他に何かお悩みは御座いますか？」と聞きましょう。

※相談内容ばかりに目をやらず、お客様の気持ちを常に想像してあげよう



⑩終了の挨拶はしっかりする

「結果を当てること」よりも「お客様は自分の気持ちを理解してくれる」占い師さんを求めて相談に来られます。お客様がお悩みを打ち明けたら不安な気持ちに寄り添って「それはお辛いですね…」といった共感&同調の言葉をかけてあげてくださいね



## 占い師の活動に大切なのが名前

活動するにあたり、自分の運気が良くなる占い師名を決めていきましょう！

- ・ 姓名判断からの画数？
- ・ どういう基準で決めていくのが良い？
- ・ 名前を自分で決められない…

そんな時は、自分が生まれた生年月日から足りない運気を  
補うことが大切です★

また、自分が好きな名前やつけたかった名前などを名前にするのも大切です。嫌な気持ちでつけた名前は、お客様を鑑定する時にその嫌な気持ちで鑑定すると…どんな鑑定になるか？分かりますよね(^◇^;)

大切なのが、良いと思った気持ちで納得した占い師の名前が大切ということを忘れずに  
しましょう☆三

